

再 サイカツ 活

(特許出願中)

成分

高分子多糖類・ミネラル類(数種の遷移金属化合物として)
・有機酸類・鉍物質細粒・その他

効能

I、再活の働き

- 1：根焼けの原因となるアンモニアガス・メルカプタン・硫化水素等の有害ガスを中和固定して無害の形に変え、土壌中に酸素を取り込みます。
 - 2：活性酸素を出し、根群の酸化還元電位を刺激して、根の活力や活着を高めます。
- ★ 上記の働きは、2～3ヶ月持続します。

II、効果

- ① 根に有害なガスを無害化し、根焼けを防ぎます。
- ② 耕土中に酸素を取り込み、植物に有益な好気性微生物群を増殖させます。
- ③ 活性酸素を生成するので、根群の活力が上がり、活着の促進と同時に根群が増大します。
- ④ チッソ肥料の異常吸収を防ぎ、リンサン・カリ・微量元素類のバランスの取れた養分吸収となります。
- ⑤ 下葉の枯れ上がりが少なくなります。
- ⑥ 葉が受光姿勢が良くなり、病気に強くなります。
- ⑦ 地上部の葉・茎・花・実のバランスがよくなります。
- ⑧ 収穫物の糖度が上がり食味が向上します。
- ⑨ 品種本来の特性が現れます。

特約店

(発売元)



昭光通商株式会社

東京都港区西新橋3丁目8番3号(ランディック新橋ビル)

(製造元)

土微研 (土壌微生物
管理技術研究所)

静岡県藤枝市藤岡2丁目18番12号

再活の施用方法

標準施用量

イ：10アール当たり1回に5kg。

ロ：最初だけ10アール当たり10kgを施すと確実な効果が期待出来ます。

★**再活**は、雨水等に溶けて土壤中に浸透して行きますので、表土に撒粒するだけで効果を発揮します。

★灌注で施す場合、5kgを少量の水に溶かし、上澄液を1,000ℓ以上の水に希釈して灌注下さい。茎葉に付着したら水で洗流して下さい。

使用方法

作物名	施用時期	施用量1回	施用方法
稲・イ草	定植前	5kg/10a	耕起・代かき前に撒粒
穀類 (麦・豆・牧草等)	播種・定植前	5kg	深耕前に撒粒
	生育期は2ヶ月毎	5kg	全面に撒粒
葉菜・根菜 花類	播種・定植前	10kg	深耕前に撒粒
	生育期は2ヶ月毎	5kg	根圏表土に撒粒
果菜(トマト・なす きゅうり・いちご等)	播種・定植前	10kg	深耕前に撒粒
	生育期は2ヶ月毎	5kg	根圏表土に撒粒
果樹・花木	3～4ヶ月に1回	5kg	根圏表土に撒粒
茶・桑	3～4ヶ月に1回	5kg	株間に撒粒
芝	播種・定植前	5kg	中耕前に撒粒
	生育期は3ヶ月毎	5kg	全面に撒粒
庭木・街路樹	3～4ヶ月に1回	5kg	根圏表土に撒粒
堆肥	材料積込みの時	2～3kg/10t	積込み時に撒粒混合

◎葉菜・花・果菜類等では、仮植・定植直後、根元に5～10粒づつ施用してから灌水すると、活着が促進されます。なるべく茎葉に付着しないように施用下さい。

◎育苗には、床土1トンに対して**再活**1kgを10ℓ以上の水に溶かして撒水施用して下さい。

◎水に溶かして散布(灌水)すると、より速く効果が現れます。

- タンクに水を溜める時、**再活**を布袋等に入れ注水口にセットして、通水しながら溶かすと作業が簡単です。
- 使用した灌水器具は作業終了後、なるべく通水洗浄して下さい。

◎ビニールマルチする場合は、マルチする前に表土に撒粒しておく、土中水分で自然に溶け、効果が出ます。

◎堆肥に**再活**を使うと、温度が60℃前後にしか上がりませんので初期の水分を50%前後に調整下さい。切返しは2～3回必ず行って下さい。